

## 東淀川区西部地域バリアフリーまちづくり協議会（第 29 回部会）会議録概要

日 時：令和 2 年 11 月 12 日（木）午後 7 時～午後 8 時 10 分  
場 所：東淀川区役所出張所 3 階多目的室

### 【議事】

- 1 開会
- 2 部会長あいさつ
- 3 議題  
(1) アクションプランの作成に向けて  
(2) ワークショップ等開催報告及び意見交換  
(3) SNS (Face\_book) の活用について
- 4 その他  
・ 次回部会予定 令和 3 年 1 月 14 日（木）午後 7 時から  
東淀川区役所出張所 3 階多目的室
- 5 閉会

### 〈配付資料〉

- ・ 議事次第
- ・ 構想部会配席図
- ・ 資料-1 ワークシート
- ・ 資料-2 SNS (Face\_book) の活用について

## 1. 開会

---

## 2. 部会長あいさつ

---

## 3. 議題

---

### (1) アクションプランの作成に向けて

#### (部会長)

- ・ ワーキングの前に 10 月 6 日に開催された第 4 回新大阪駅周辺地域都市再生緊急整備地域検討協議会について少し報告したい。
- ・ 今検討されている新大阪周辺のまちづくりを「WITH コロナ」におけるまちづくり全体の基礎にしていきたいという提案があった。日本の玄関口といったこれまで議論されてきた言葉と共にソーシャルディスタンスといった WITH コロナ時代の言葉も多く述べられ、これからのまちづくりの先駆的な役割を果たしたいという議論があった。

#### (事務局)

- ・ 地域のアクションプランの作成を進めていくためのワーキングを行う。進行は日本インシークにお願いする。

#### (日本インシーク)

- ・ 前回の構想部会でのワーキングは地域課題について現状整理を行った。今回は今後やりたいことや短期・中期・長期への振り分けといった目標整理を行い、テーマ毎のアクションプラン作成に向けたワーキングを行う。

以上、ワークシートの説明を行い、目標整理についてのワーキングを行った。

## ・ワークシートについて

### (部会員)

- ・全ての活動を一旦アンケートやワークショップで列挙してから、取りとめもなく話合うことが最初の取り組みだと思ふ。そこから、短期、中期、長期への振り分けを行った。既に行っている活動は短期、短期の活動から派生して行えるかどうかで中期、長期に振り分けた。
- ・コロナ禍では実施できていない活動が多く短期目標で止まっているテーマが多い。これから整理をするのなら、まずは短期目標から整理する方が良いように思ふ。中期、長期の目標はこれまでの部会で久先生から話があったように、一旦棚に置いてしまっても良いように思ふ。

以上、先行している地域からワークシートについて意見を頂いた。

### (日本インシーク)

- ・頂いた意見を参考にワークシートについて再度検討を行う。

## (2) ワークショップ等開催報告及び意見交換

### ・意見交換内容要旨

- ・人との繋がりとして1つの場で会食するという方法とは別の方法で、人との繋がりを意識できるようにして孤独を解決できないか。
- ・地域で集まるというイベントは難しいが、イルミネーションイベントは実施したいと考えている。
- ・学校施設の利用状況は地域毎に差はあるが、年内中止や年度内中止という地域が増えてきている。
- ・高齢者の方が子ども世代と触れ合う場が減っていることが問題である。
- ・イベントなどの主催者の責任問題について、ガイドラインを準拠し運営している場合は参加者の自己責任といった仕組みにはできないだろうか。

### ・久教授のアドバイス要旨

- ・アクションプランをこの会議の場だけで作成するのは難しいように思ふ。部会員の思いは書けるけれども、地域の方たちの意見の確認は必要だと思ふ。ここから地域までどのように持っていくかは工夫が必要だと思ふ。アクションプランまでレベルを高めていくのであれば、区役所を含めてこの部会だけの議論では済まないと思ふ。
- ・コロナ禍における集まる場所について、「コロナ・高齢者・触れ合い」などで検索すると、いくつかの市や社協の情報が出てくる。自治体によっては役所が出しているものもあるので、指針、留意点などは共有したほうが良いと思ふ。
- ・ある市の社協ホームページでは厚労省の指針を示し、指針を守り集まる場では注意をして欲しいとお願いをしている場合もある。集まらないではなく、注意して集まろうというやり方を工夫したら良いと思ふ。お墨付きという意味では権限を持っている人間がガイドラインやルールを示すと地域は動き易いと思ふ。
- ・コロナ禍での生涯学習の方法としてオンライン公民館を紹介する。ZOOMを使用して配信をするという試みが何回かされている。オンライン公民館は先生も市民、生徒も市民の講座が2日間で300講座程度開催されるサマーセミナーというイベントがベースとなっている。サマーセミナーでは先生を募集し、2日間に分けてプログラムを作り、プログラムを配布し、プログラムを見た人が受講したい講座を選んで受講す

るというイベントで数年開催されている。今年はサマーセミナーをオンラインに切り替えたものがオンライン公民館である。

- ・先生を募集し ZOOM にて講座の日時を指定して貰う。講座の日時を集めて番組表のようにまとめてインターネットなどで配布する。ZOOM を使える人なら ZOOM を立ち上げて、受講したい講座を選んで ZOOM で受講するという仕組みである。参考にして頂きたい。
- ・これを応用し ZOOM を使える人限定にはなってしまうが、交流会やイベントを ZOOM で配信するといった新しい形での運営の仕方もあると思う。先生も生徒も自宅から参加できるので参加者が集まらなかった場合でも「誰も集まらなかったので仕方がない、今日はやめておこう」と、今までのイベントよりも軽く進められる面もあると思う。

### **(日本インシーク)**

- ・久教授から指摘を頂いた通り、構想部会の場の意見だけで地域のアクションプランの取りまとめができるとは考えてはいない。各地域の住民の意見を頂いた上で完成するものだと考えている。

### **(3) SNS (Face\_book) の活用について**

#### **(事務局)**

- ・前回の構想部会で久教授からインターネットを通じて情報交換できる掲示板について話があった。区役所調整した結果、部会員間での意見、情報交換を行うツールとし Facebook のページを開設した。構想部会のメンバーで共有できる新たな場所というかたちで積極的に活用いただきたい。

## **4. その他**

---

### **・ 次回部会予定**

#### **(事務局)**

- ・次回は年明け 2021 年 1 月 14 日木曜日午後 7 時から出張所 3 階多目的室で開催予定である。

## **5. 閉会**

---

以上